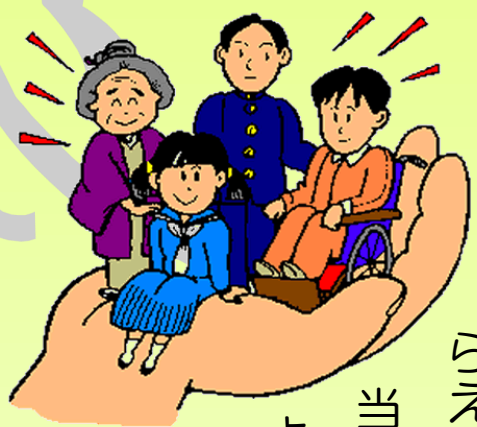


## 「税と私」

出雲北陵高等学校 一年 知野見 夏生

仏教の言葉で、善因善果というものがあります。善い行いは巡って善い果報を得るという意味です。私は税の作文を書くにあたってこの言葉を思い出しました。

私達が日々払っている消費税などの税金は、身の回りの色々なところに使われていきます。一つ例を挙げるとすれば、救急車です。私の祖父は、五年前急に体調が悪くなり救急車で運ばれたことがあります。そのとき祖父はまともに呼吸ができず苦しんでいて、とても危険な状態でした。そこで救急車を呼び、搬送されました。救急車を呼んだ母はものすごく怖くて不安だったと思



いますが、電話をするとすぐに駆け付けてくださり、とても安心したそうです。その後は搬送先の病院でも危険な状態が続き、さらに大きな病院にドクターヘリで搬送されることになりました。のちに、そのお陰で一命を取り留め、入院による治療の後退院できるまで元気になりました。救急車を呼び、無料で搬送してもら

らえることを当たり前のように感じていますが、今となってはこれも税のお陰だということに気が付き、本当に感謝

しています。

世界を見渡すと、日本のように救急車が税金により無料で呼べる国は珍しいようです。例えばアメリカでは五万円、カナダでは六万円と、決して安くはない料金が請求されます。日本でも一回の出動で四

万五千円がかかると言われています。それが無料であることによって助からない命は確実に減っていると思います。裕福である人もそうでない人も、躊躇せず救急車を呼ぶことができる日本はとても素晴らしい国だと思います。しかし近年では、軽症での救急車の要請が全体の半分を越えており、出勤から到着までの平均時間が長くなっていることが問題になっています。

要請した理由として、交通手段がなかったという緊急性の感じられないものも増えているようです。救える命を少しでも多く救うために、いくら無料だからといっても通報する際は適切に判断する事が大切だと思います。

これはたった一つの例ですが、他にも私達の生活はたくさんさんの税によって支えられています。毎日払っている税金は巡りめぐって日々私達に恩恵をもたらしています。今日も生活のどこかで冒頭の四字熟語を思い出すことになるでしょう。